

© 新機軸エージェンシー・サンライズ

Illustrated by BEE-CRAFT

MS-06 'ZAKU II'

PRINCE OF ZEON



HG

UNIVERSAL CENTURY



BANDAI 2003 MADE IN JAPAN

この商品には、量産型ザクが1体入っています。

パッケージの写真・イラストと商品とは多少異なりますのでご了承ください。

■ MS-06 'ZAKU II'

PRINCIPALITY OF ZEON MASS PRODUCTIVE MOBILE SUIT

© 1985 エンタープライズ・サンライズ

MODEL NUMBER : MS-06
TOTAL HEIGHT : 17.5m
WEIGHT : 56.2t
GENERATOR OUT PUT : 976kw
ARMAMENTS :
ZAKU MACHINEGUN
ZAKU BAZOOKA
HEAT HAWK
TRIPLE MISSILE POD



1/144 SCALE
HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2003 MADE IN JAPAN

●写真のモデルは、塗装してあります。

Scanned by Dalong.net

0122240

**BAN
DAI**

MS-06 "ZAKU II"

U.C.0078年1月、いわゆる「ザク」MS-06の生産は、「旧ザク」MS-06の生産終了に前後する形で終わられていた。生産開始後もザクの改良は続けられ、この機体は、ほとんど無改造で宇宙でも重力下（地球上）でも運用することが可能となった。中でも最も多く生産されたのが「F型」に分類されるザクで、初期の06ザクは、その仕様によってA型やC型などと区別されている。ザクは生産ラインに多少手を加えることでバリエーション種を生み出すことが可能であったため、一年戦争終結までの期間で、数種類の仕様種や特殊機など、多くの派生型を生み出している。「D型」もまた、そうした改造種のひとつだが、外観上、F型と大きな差異はほとんどない。実際には、空冷構造の採用などをはじめとする改造によって、機体全体の構造が異なっており、ジェネレーターのスペックこそ同等だが、地上での稼働時間は格段に延長されている。地球の環境に適応させるいくつかの追加装備や調整を施すだけで、F型は陸軍用MSの「J型」として生まれ変わるのである。ちなみに、一年戦争終結までの期間において、06系に分類される機体の総生産数は3000機を大きく上回るとされている。この数字こそが、その生産性を象徴し「ザク」の優秀さを証明していると言っても過言ではない。

ダクト

ザクの胸部口筒部のダクトは、主に実戦用の気圧や冷媒などの排出に使用されるほか、緊急時の脱気用エアフィルターとしての用途があったとも言われている。

ザク・バズーカ

ザクが使用する大型兵器のひとつ。口径は280mm。開発当初は核弾頭の射出にも使用されたが、開発最終段階後は通常弾頭を装備している。

SPEC

- 型式番号：MS-06
- 全高：17.5m
- 本体重量：56.2t
- ジェネレーター出力：978kw
- 装甲材質：超硬スチール合金
- 武装：ザク・マシンガン
ザク・バズーカ
ヒート・ホーク
3連装ミサイルポッド



ヒート・ホーク
MSの白兵戦用の武器。ブレード部分が磁性化し、敵の車両や施設、機体などを切断する。



Scanned by Dalong.net



ランドセル

MS-06のランドセルは、エネルギーターミナルとプロペラントタンク、バーニアスラスターなどが高密度に集積したユニットであるばかりでなく、機体的にボディユニットからブロックとして独立しており、改良や修繕を比較的容易に行うことが出来る。

シールド

当初、ザクの両肩には旧ザクと同様のフラットなショルダーアーマーが装備されていたが、生産の妨がりや視界の確保を目的にスパイクアーマーが、右肩にはシールドが装備されるようになった。シールドは結果的によけ突撃などの効果があり、側面からの攻撃や頭部破壊に対する防御効果として採用された。

ショルダー スパイクアーマー

ショルダースパイクアーマーは、もともと視界確保や防弾効果などのために設置されたが、運用者がMSを投入してからは、対MS戦用のクックルなどにも有効であることが確認されている。

動力パイプ

ザクの動力システムは、中心から放射するエネルギーをバルブ状の圧力に変換し、関節駆動用のロータリーリングに圧縮気流を伝達する「流体内バルブシステム」を採用している。ザク（05型）はこれを内蔵していたが、ザク（06型）は生産性や整備性などのため廃止されている。

ザク・マシンガン

公軍用のMS用マシンガン。ザクのもっとも一般的な執行武器で、一年戦争の初期に多用された。

3連装ミサイルポッド

陸軍用にあつらえられた3連装のミサイルポッド。脚部などにマウントして使用する。



MS-06 量産型ザク

MS-05F/ザク いわゆる「量産型ザク」は、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」および劇場用作品「機動戦士ガンダム」[機動戦士ガンダムⅡ 哀・戦士]「機動戦士ガンダムⅢ めぐりあいの宇宙」などに登場した「ジオン公国軍」の象徴たる量産MSである。U.C.0079年初頭、最初に最も強い宇宙殖民都市サイド3はジオン公国を名乗り、地球連邦軍府に独立戦争を挑んだ。「一年戦争」「ルクス戦役」などをはじめとする1ヶ月あまりの戦いで、人間は総人口の約半数を死に至らしめた。「高層条約」の締結後、戦前は膠着状態に陥り、8ヶ月あまりが経過した同年3月10日、「赤い彗星」ことシャア・アズナブル少佐率いる公国軍の特務部隊は、ゲリラ探偵作戦の任務、サイド7近隣の自治体木島のような外縁を持つ自治体を掃討した。連邦軍の「V作戦」との関係を知ったシャア少佐は、3名の部下に前線を出発。隊員のデニム隊長と乗員のジーン、スレンジャーの3人は、ザクを駆ってサイド7の11/11チコロニー見習ブロックへ進軍。作戦形の過酷を抜けるとは無く与三両型まで塗り替えた。「スレンジャー、お前はここに残れ」「ハッ!」警戒のため1目を閉じ、デニムとジーンはザクはコロニーの内側へと侵入する……!



CG Work by YUJI KONNO (Jami)

■ MS-06 ZAKU II (量産型ザク)

デザインワークス(コンセプトデザイン:カトキハジメ)



Scanned by Dalong.net

Illustrated by GIBI-CO (AT-1)

ACTION

WEAPON

ウエポン



ARMAMENT

REAR VIEW

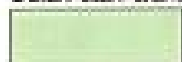
リアビュー



COLOR GUIDE

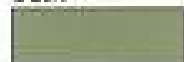
●よりリアルな仕上がりには、下記色指定を記入ください。 ●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(特108)クレオスより発売のガンダムカラー(04)「機体用ザク」用、その他カラーセットを是非購入ください。

●頭部、腕部、脚部等：



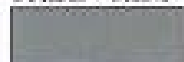
イメローグリーン(60%)
+ホワイト(40%)
+RLMグレー(少量)
※または、ガンダムカラー
グリーン10

●胴体：



グリーン(80%)
+ホワイト(10%)
+ブラック(10%)
+RLMグレー(少量)
※または、ガンダムカラー
グリーン11

●関節部、武器等：



ブラック(80%)
+ホワイト(40%)
※または、ガンダムカラー
グレー18

●腕部、タツ等：



ブラック(90%)
+ホワイト(10%)

●ミサイル等：

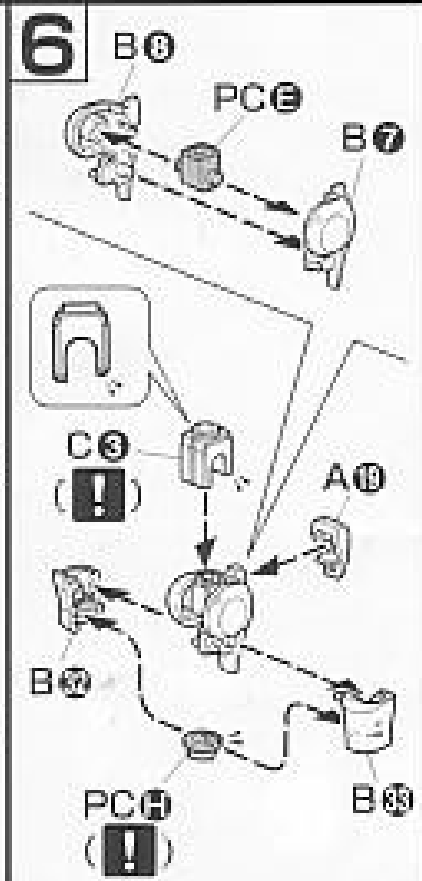
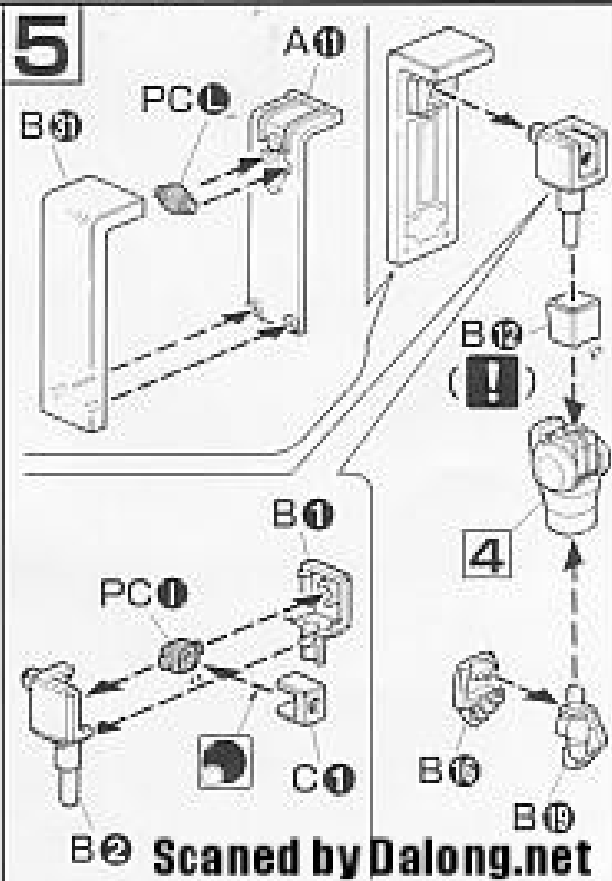
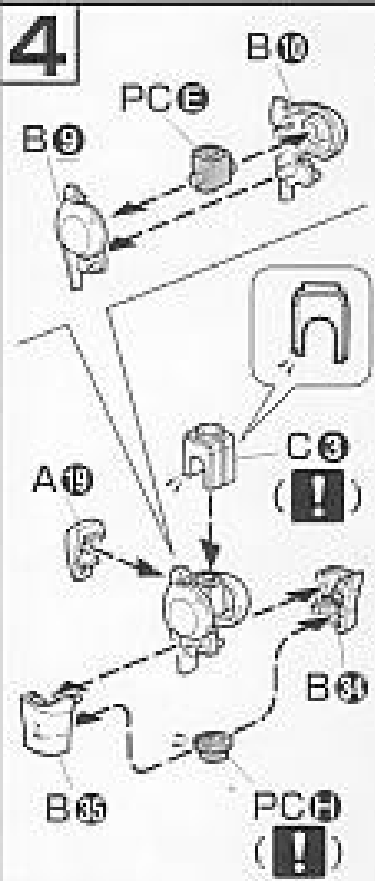
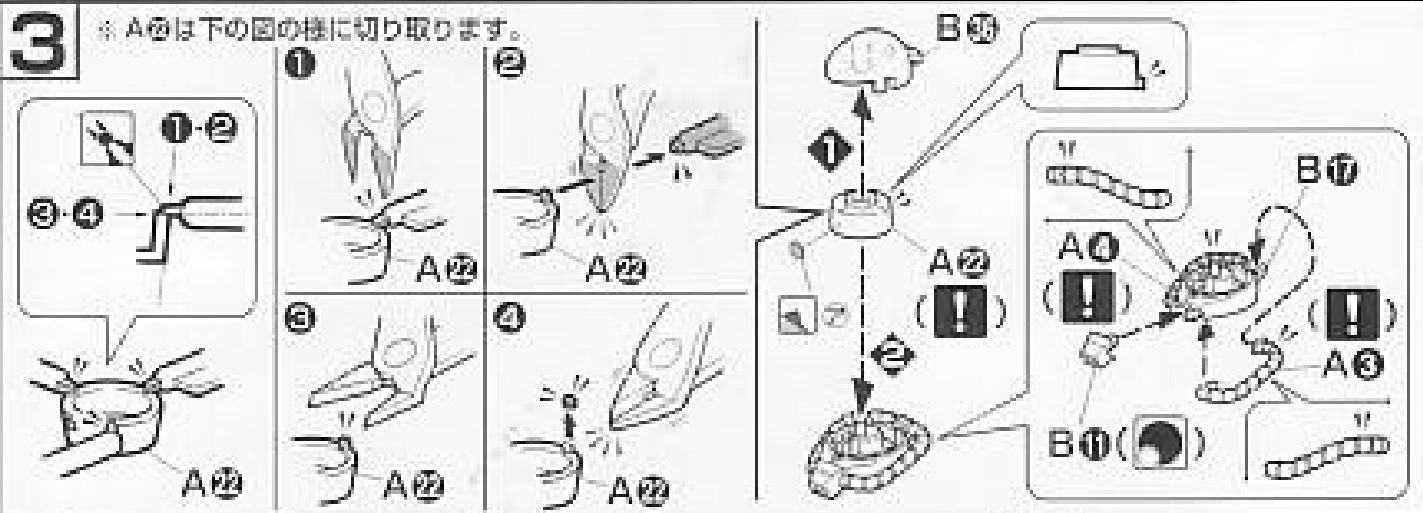
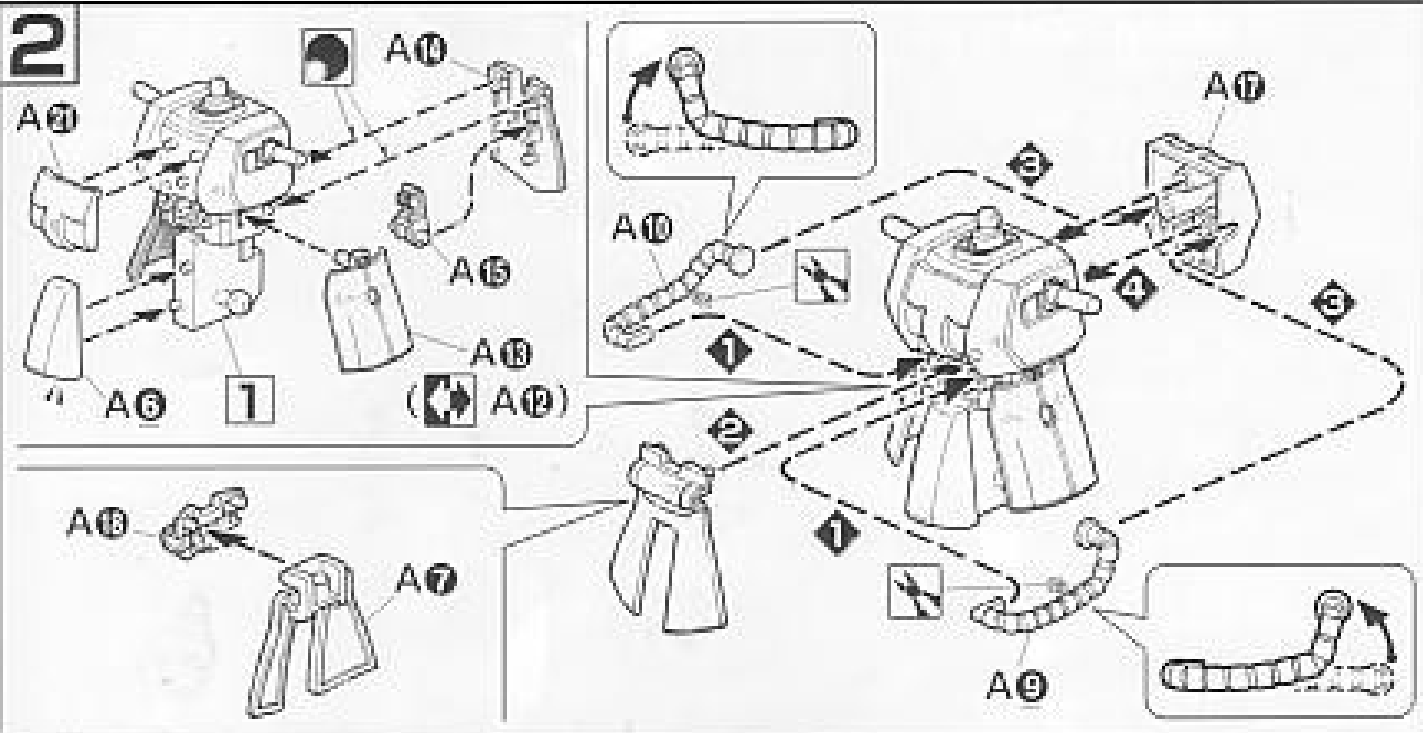


レッド(100%)

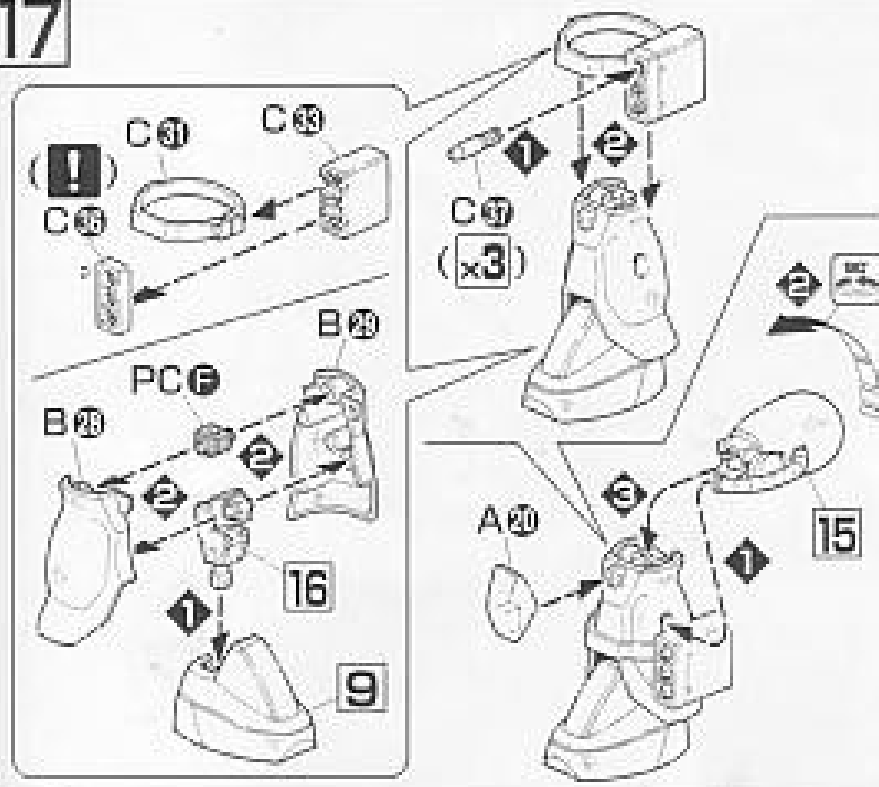
●バズーカスコープ：



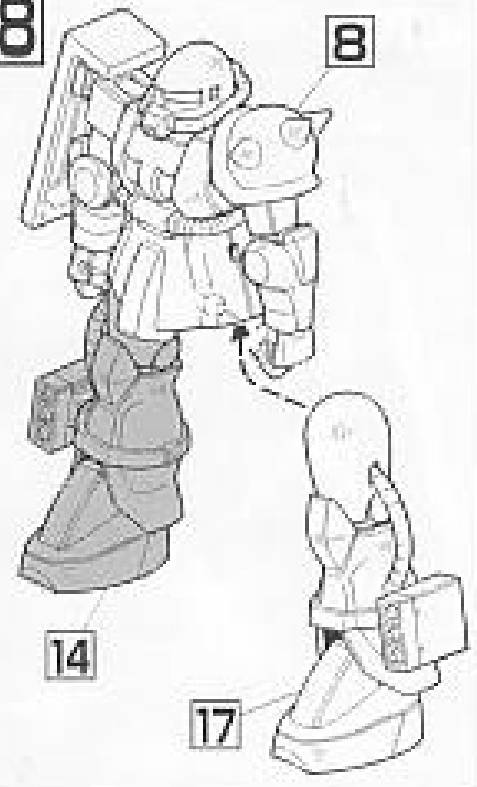
蛍光ピンク(100%)



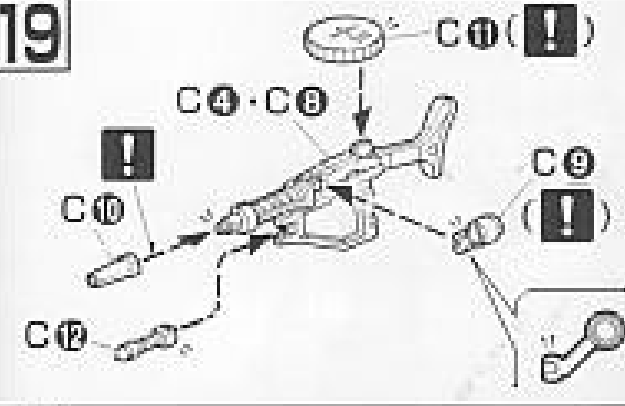
17



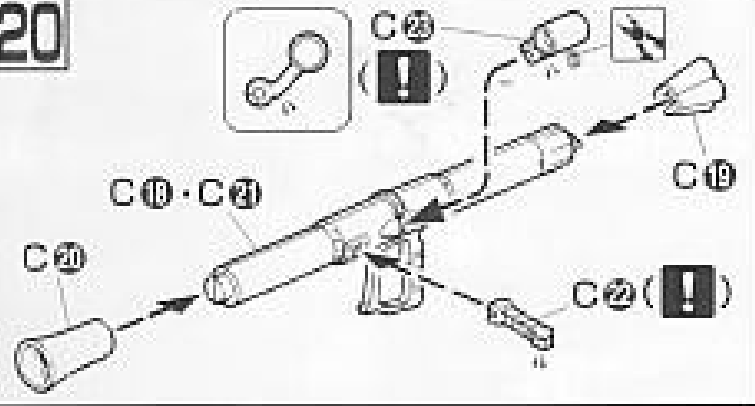
18



19



20



21

